１２．特別養護老人ホーム飛鳥晴山苑

１）総括的概要

令和元年度（2019年度）の飛鳥晴山苑（高齢）各事業を稼働状況は、特養部門の稼働率が93.6％（前年度は93.4％）、ショートステイ部門の稼働率は101.8％（同102.3％）。両入所部門を合わせると、わずかに0.5％の増であった。一方、在宅部門では、一般型デイサービスは利用者数で前年度比3.2％増、介護予防型デイサービスは同2.3％減、認知症対応型デイサービスは同0.3％減、居宅介護支援は同1.2％減、訪問看護は同17.5％減であった。取扱件数が減少した訪問系の事業（訪問看護・居宅介護）は専門職の配置人数がそのまま取扱件数に反映されることから、収支の乱れは少ないが、広域の介護保険事業から地域総合支援事業へと力点を移した介護予防事業については、ビジネスモデルの再構築が求められる年となった。

利用者処遇では、①オムツゼロへの取り組みに停滞感が出現したこと（日中のオムツ着用率が20％⇒24％へと後退） ②「虐待の芽」チェックリストによる虐待予防の深化 ③ノーリフト文化の醸成（全国大会での最優秀賞受賞） ④部門別原価管理システムの継続によるコスト意識・時間当たり付加価値意識の内在化と忍び寄るマンネリ感―などの功罪が表出した1年でもあった。

令和2年度（2020年度）は特養とショートステイの稼働率をそれぞれ2～3％上げることを目標とするが、令和元年度末から世界中に広がったコロナ禍により、その達成は困難が予想される。開設12年目。この逆風に抗して、介護予防事業再構築への道筋をつけ、これからの10年の礎となる最新のAI機器の導入を図り、介護現場の安心・安全・省力化を一段と推し進める飛躍の年としたい。

２）施設概要

施設の名称	特別養護老人ホーム　飛鳥晴山苑
建　設　地	東京都北区西ヶ原４－５１－１
施設の種別 及 び 定 員	①特別養護老人ホーム（ユニット型・個室）　152床 ②ショートステイ　（ユニット型・個室）　20床 ③デイサービスセンター（一般型）　45人 ④デイサービスセンター（認知症対応型）　12人 ⑤デイサービスセンター（介護予防型）　25人×1日2回 ⑥居宅介護支援事業所 ⑦訪問看護ステーション ⑧地域包括支援センター
敷 地 面 積	6,500.02 ㎡
建築構造規模	鉄筋コンクリート造　地上６階建
建 築 面 積	3,774.65 ㎡
延 床 面 積	12,830.11 ㎡
駐 車 台 数	49台
着　　工	平成18年 12月13日
竣　　工	平成20年　3月31日

特別養護老人ホーム　飛鳥晴山苑　職員体制

事業所	職種	常勤	非常勤
管理者	施設長	1名	
特別養護老人ホーム（短期入所事業含む）	生活相談員	3名	12名
	介護支援専門員	1名	1名
	介護職員	72名	16名
	看護職員	2名	8名
	機能訓練指導員	2名	
	事務職員	1名	2名
	管理栄養士	1.5名	
	洗濯・清掃・運転		10名
	介助・生活支援員		9名
通所介護事業	生活相談員	2名	
	介護職員	8名	12名
	看護職員		3名
	機能訓練指導員	1名	1名
	運転手		16名
居宅介護支援事業	介護支援専門員	3名	
訪問看護ステーション	看護職員	4名	3名
	機能訓練指導員	3名	
	事務職員	1名	
地域包括支援センター	社会福祉士	1名	
	看護師	1名	
	事務員	1名	
	ケアマネ	2名	1名
	見守りコーディネーター	1名	
	医師		5名
計		111.5名	87名

――― 資格取得状況 ―――

社会福祉士	9名
社会福祉主事任用	15名
介護支援専門員	19名
正看護師	18名
准看護師	1名
作業療法士	3名
理学療法士	2名
管理栄養士	2名

介護福祉士	93名
実務者研修終了者(1級)	7名
初任者・基礎研修終了者(2級)	43名

【重複所持あり】

１２－１．特別養護老人ホーム事業関係

2019年度の介護度は3.9～4.0であった。新規入所者の介護度が低下傾向によるものと言える。年間の入所率は94.5%、稼働率は92.4%（空床含まず）であった。今年度は、入院者数が延459名も昨年度より増加した。原因としては、誤嚥性肺炎や持病の悪化、骨折等による入院であり、長期間に及ぶ入院が多数発生した。また、重篤な事故も多数発生してしまい、事故発生時には関係部署が集まり事故を分析し改善策を検討し改善策は全体周知を行った。

１）入所前住所別在苑者数

入所前住所地	人　　数	入所前住所地	人　　数
赤　　羽	2	王　子　本　町	2
赤　羽　南	1	滝　野　川	27
赤　羽　台	5	西　ヶ　原	33
志　　茂	7	栄　　町	2
西　が　丘	3	堀　　船	5
浮　　間	3	豊　　島	14
岩　淵　町	5	中　　里	5
神　　谷	2	上　中　里	4
上　十　条	5	田　　端	10
中　十　条	1	田　端　新　町	1
東　十　条	2	区　　外	2
王　　子	8		
小　　計	44	小　　計	105
		合　　計	149

２）月別入退所状況

区分＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入　所	2	3	2	6	4	4	3	4	2	6	3	4	43
退　所	3	4	2	2	3	3	5	5	2	2	3	2	36

３）入所経路及び退所理由

	入所経路									退所理由			
区分	自宅	病院	特養	老健	ケアハウス	有料老人ホーム	グループホーム	サ高住	計	死亡	長期入院	在宅復帰	計
男	1	2	0	4	0	4	0	1	12	5	2	0	7
女	14	2	0	9	0	4	2	0	31	25	3	1	29
計	15	4	0	13	0	8	2	1	43	30	5	1	36

４）在苑者の年齢構成

	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合　計	平均	最高	最低
男	1	2	3	3	4	8	7	1	29	83.2	99	63
女	0	0	4	10	13	30	45	18	120	88.9	104	72
計	1	2	7	13	17	38	52	19	149	87.8		

５）介護度別分類

①介護度別障害老人の日常生活自立度　寝たきり度

介護度／ランク	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	計
自立						0
Ｊ１						0
Ｊ２						0
Ａ１		2	3	4	2	11
Ａ２		1	13	6	5	25
Ｂ１		2	13	15	5	35
Ｂ２			9	20	28	57
Ｃ１			3		3	6
Ｃ２			2	4	9	15
計	0	5	43	49	52	149

②介護度別認知症高齢者の日常生活自立度

介護度／ランク	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	計
自立					2	2
Ⅰ		2	2	4		8
Ⅱａ			3	4	1	8
Ⅱｂ			7	8	3	18
Ⅲａ		3	15	16	10	44
Ⅲｂ			8	7	6	21
Ⅵ			6	10	29	45
Ｍ			2		1	3
計	0	5	43	49	52	149

③男女別平均介護度

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計	平均
男		1	8	12	8	29	3.9
女		4	35	37	44	120	4.0
計	0	5	43	49	52	149	4.0

医務室部門

＜H31年度(2019年度) 受診同行・入所者入院状況・看取り状況・面接業務＞

①受診看護師同行　83 件
　＊転倒、転落、打撲、外傷、その後の再診　11 件
　＊発熱、意識障害、経口摂取困難　胸部不快他　29件
　＊血流不全、呼吸困難、尿道ｶﾃｰﾃﾙ詰り、嘔吐、疼痛他　21件

②救急搬送　14件
　＊意識レベル低下4件、発熱2件、呼吸困難2件、転倒外傷1件
　　イレウス1件　腹痛1件

③入院件数　50件
　＊平均入院日数　18.0日
　＊入院利用病院　花と森の東京病院14件、明理会中央総合病院　20件
　　北医療センター6件、帝京大1件、長寿健康医療センター2件
　　大和病院　2件　赤羽中央病院　1件　王子神谷病院1件

④看取り件数　22件
　＊老衰　18件　　急性心不全　1件　　急性呼吸循環不全1件　　心不全1件
　＊平均年齢　91.6歳

⑤入所事前面接実施件数
　＊特養面接　20件
　＊ショートスティ面接　苑内・自宅訪問23件

１２－２．短期入所生活介護（ショートステイ）事業

～H31年度に注力した事～

28年度を境に低下している稼働率の回復を計る為、①新規利用者のリピート率、利用日数の増加を図るため、利用後に個別のにニーズを確認していく②現在関りのない事業所にも訪問をし新規利用者をご紹介頂く。③空所情報を関係事業所ならびに今まで関りのない事業所にも週単位で発信していく。この３点を実施していきました。前年度と比較して毎月の稼働率は安定してきており一定の成果は得られたと思う。今後は平均介護度の向上、更なる稼働率のアップを目指して次年度に臨みたいと思う。

～R2年度に取り組む課題～

現状のコロナウィルスの感染を目の当たりにし、改めてショートステイは貴重な社会資源と感じている。それを踏まえ今後はご利用者に安全、安心に過ごして頂けるよう感染予防を徹底した環境作りを実施していく。緊急の依頼を積極的に受け入れ社会に貢献していく。そして稼働率のアップに繋げていく。前年度実施した３件の要項は今年度も引き続き実施し稼働率アップに努める。

・H31.4/1～R2.3/31
　介護保険請求のみの表記（北区緊急生活支援事業・北区認知症高齢者一時保護事業は含む）。
・特養空床利用は含まない。

１）利用状況

	実利用者数	利用者延人数	送迎回数	平均利用者数
4 月	96	618	251	20.6
5 月	98	621	258	20.0
6 月	90	628	237	20.9
7 月	90	617	226	21.1
8 月	87	643	222	20.7
9 月	92	622	224	20.7
10 月	100	641	241	20.7
11 月	91	600	207	20.0
12 月	97	620	225	20.0
1 月	97	630	203	20.3
2 月	101	632	218	21.8
3 月	85	569	194	18.6
合　計	1,124	7,441	2,706	20.5

２）介護度別延利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累　計
要支援１	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	6
要支援２	6	5	2	3	4	4	4	6	3	3	3	1	44
要介護１	23	25	18	21	17	19	18	18	20	16	17	17	248
要介護２	20	17	18	18	21	21	24	21	26	22	25	20	253
要介護３	20	23	22	22	18	22	26	22	20	20	17	15	247
要介護４	11	13	12	14	13	13	12	13	12	17	17	12	159
要介護５	12	14	13	9	11	10	13	11	13	12	16	14	148
自　立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
申請中	4	1	5	3	3	3	3	0	0	4	4	4	34
合　計	96	98	90	90	87	92	100	91	97	97	101	85	1,124

３）利用者年齢構成

	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	合計	平均	最高	最低
男	0	0	2	4	11	4	6	0	27	85.2	94	71
女	1	2	3	4	8	18	18	10	64	89.1	104	62
合計	1	2	5	8	19	22	24	10	91	88.3		

１２－３．通所介護（デイサービス）事業（介護予防含む）

前年度比103.2％と微増したが目標の稼動90％に対し87.6％と及ばなかった。新規を獲得し稼動の維持、向上を図る施策として、送迎範囲を狭める事による送迎の効率化と昨年同様に入浴担当のパート職員を確保し入浴人数の増加を徹底する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用人数
30年度延べ人数	1054	1102	1080	1067	1012	978	1009	996	977	839	921	1040	12075
1日平均	42.2	40.8	41.5	41.0	37.5	39.1	37.3	38.3	36.2	35.0	38.4	40.0	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用人数
31年度延べ人数	1130	1152	1074	1136	1111	1027	1065	1072	965	931	909	886	12458
1日平均	43.5	42.7	43.0	42.1	41.1	41.1	39.4	41.2	40.2	38.8	36.4	34.1	

２）介護度別利用状況

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	16	14	12	12	11	10	10	11	10	8	7	7	128
要支援2	18	18	18	17	17	18	16	17	17	17	18	17	208
要介護1	59	55	56	57	54	50	52	51	51	47	48	39	616
要介護2	27	30	30	30	30	34	34	36	35	32	28	25	371
要介護3	15	15	17	11	10	11	12	11	8	10	9	9	136
要介護4	11	11	15	13	13	14	13	13	14	13	14	11	155
要介護5	3	4	3	4	6	7	6	7	5	6	6	6	63
合計	149	147	151	144	141	144	143	146	140	133	129	114	1,682

３）曜日別平均利用状況（予防含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月曜日	46	45	43	41	41.8	34	41.3	43	40	41	39	36.6	40.9
火曜日	44.8	45	48.3	45.2	43.8	47.5	43	44	43.3	40.3	39	37	43.4
水曜日	38.5	35.8	37	39.8	37.8	39.8	40.4	40.8	40	41.3	37.3	35.3	38.7
木曜日	46.3	48.2	47.8	48	44.4	44.3	43.4	44.3	38.8	36.3	34.8	32.7	42.4
金曜日	38.8	38.6	41.3	39	39.8	42.8	37.3	42.4	41.5	39	36.5	33.5	39.2
土曜日	45.5	44.8	41	39.5	39.4	40	29.3	34.4	37.8	35	32.6	28	37.3
日曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

１２－４. 認知症対応型通所介護(デイサービス)事業(介護予防含む)

前年度比99.7%と微減したもののレクリエーションを認知症対応型に適した内容に徐々に変更したことや新規獲得の結果、目標値の稼動60%を上回り61.8%と高水準を維持。利用者ニーズを的確に把握し利用者確保に努める。

１）利用者月間延べ人数推移

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用人数
29年度延べ人数	159	167	151	143	142	136	116	139	160	139	119	170	1741
1日平均	6.4	6.2	5.8	5.5	5.3	5.2	4.6	5.3	5.9	5.8	5.0	6.3	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用人数
30年度延べ人数	181	208	213	190	189	191	212	210	215	177	170	198	2354
1日平均	7.2	7.7	8.2	7.3	7.0	7.6	7.9	8.1	8.8	7.4	7.1	7.6	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総利用人数
31年度延べ人数	200	200	188	210	211	175	182	211	214	187	189	176	2343
1日平均	7.7	7.4	7.5	7.8	7.8	7.0	6.7	8.1	8.9	7.8	7.6	6.8	

２）介護度別利用状況

①要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	5	6	6	5	4	5	5	6	7	7	8	68
要介護2	4	4	3	4	5	5	4	5	4	3	3	2	46
要介護3	6	5	5	5	5	7	5	7	8	8	5	4	70
要介護4	5	5	5	6	5	4	4	4	5	4	4	5	56
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	28
合計	21	21	21	23	22	22	20	23	23	25	22	22	268

３）曜日別平均利用状況(予防含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月曜日	8.8	7.8	7.2	8.6	8.3	5.6	6.3	7.0	9.3	10.3	9.3	8.0	8.0
火曜日	8.8	7.5	6.4	8.6	8.5	8.0	8.8	9.3	9.8	6.8	5.3	5.2	7.8
水曜日	5.0	6.0	6.8	6.0	6.5	5.3	5.8	6.5	7.8	7.3	7.3	6.3	6.4
木曜日	8.3	8.6	6.5	8.3	7.4	7.3	6.4	10.0	9.5	7.8	8.0	8.0	8.0
金曜日	7.5	7.8	7.3	6.3	7.8	8.8	9.0	8.8	10.3	8.5	8.3	7.3	8.1
土曜日	7.3	6.8	7.8	9.0	8.4	7.5	4.0	7.2	7.0	6.3	7.4	6.0	7.1
日曜日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

１２－５. 運動器機能向上特化型介護予防通所介護事業（デイサービス）
「リハビリデイあすか」

平成31年度は前年度中に導入したトレーニングマシンやリカンベントバイクによる高いトレーニング効果をアピールし、近隣の住民や居宅介護支援事業所への介護予防への意欲を喚起して月平均で一営業回あたり88％程度の稼働率で運営することが出来た。また、北区の要支援者を対象として『事業所評価加算』を算定することが出来、下がり続ける介護報酬の低下による収入の減少は最低限にとどめることが出来たと思われる。
しかし、夏の暑さにより利用実績が80％程度に落ち着き、そこからの回復が見られ始めたころに新型コロナウィルスの感染拡大により、ご利用者の自主的な利用自粛があり、利用実績も70％弱となってしまった。

新型コロナウィルスの感染拡大による影響は年度をまたいで継続すると思われるが、これまで行ってきたご利用者への注意喚起と事業所内各部の消毒を入念に行い、事業所内での感染者の発生を予防する事でご利用者にも安心して通所を継続して頂き、通常のサービス提供内容の充実に加え、衛生面や危機危機管理における迅速で適切な対応を行うことが出来る事業所として、今後の事業運営における信用を高める糧としていきたい。

また、例年事業所収益の中で大きな柱の一つである北区委託事業の『元気アップトレーニング教室』及び『おたっしゃ筋力アップ体操教室』は平成31年度後期はやはり新型コロナウィルスの影響により期間を短縮して終了したものの、今後の自主活動に対しても意欲的な卒業生を輩出して好評だった。
残念ながら、令和2年度前期については既に中止が決定しているが後期の開催に向けて更なる充実した内容で且つ円滑に運営していくことが出来るように準備を推し進める。

「リハビリデイあすか」31年度利用状況

	H30平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H31平均
利用者数	186.6	193	197	189	185	181	184	187	194	190	188	191	167	187.2
延べ利用者数	916.8	957	1019	926	948	914	843	921	900	853	839	886	747	896.1
営業回数	42.6	43	45	42	45	45	41	43	43	40	40	42	43	42.7
1回の平均利用者数	21.5	22.3	22.6	22.0	21.1	20.3	20.6	21.4	20.9	21.3	21.0	21.1	17.4	21.0

１２－６．居宅介護支援事業　「ケアパートナーあすか」

令和１年度についても稼働率に拘り、100%を超える結果を出した。CMの経験値が上ると共に力量に個人差が目立ち、ケアプランの構成要領・新規受け入れ・取扱い件数の差が出た。 今後はより正確な時間管理、業務配分を徹底して安定した運営に繋げたい。

１）月別ケアプラン作成件数（予防プラン含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度	119	122	123	123	123	130	141	135	133	132	128	134	1,543
平成30年度	138	157	157	157	150	149	146	140	140	138	138	144	1,754
令和1年度	145	145	146	146	145	146	145	149	148	147	143	142	1,747

２）地区別件数

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
北区	135	136	138	137	134	136	135	138	137	137	131	130	1,624	1,647
豊島区	9	9	8	9	11	10	10	11	11	10	12	12	122	95
板橋区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	145	145	146	146	145	146	145	149	148	147	143	142	1,747	1,754

３）介護度別件数

月 地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
要支援１	28	27	23	23	23	22	21	22	22	19	20	20	270	230
要支援２	24	24	24	25	29	29	28	27	26	24	24	25	309	212
要介護１	41	39	40	42	39	40	44	44	46	49	46	47	517	407
要介護２	11	14	17	16	17	18	17	18	18	16	18	15	195	255
要介護３	19	22	22	23	22	24	21	21	20	21	20	18	253	212
要介護４	13	11	12	11	11	8	9	10	9	11	7	8	120	151
要介護５	9	8	8	6	4	5	5	7	7	7	8	9	83	76
合　計	145	145	146	146	145	146	145	149	148	147	143	142	1,747	1,543

１２－７．訪問看護事業「訪問看護ステーション　飛鳥晴山苑」

＜基盤づくりと経営の安定化へ向け＞

9年目を迎えたステーションは4月から新しい管理者の下で業務を開始した。当初に挙げた理念・ビジョンを基本に基盤固め、経営の安定化を図った。非常勤看護師が９月に入職したが、1名の非常勤看護師が11月に退職、１名の非常勤看護師の体調不良による入院があった。セラピストは3人体制でリハビリの質の向上に努めた。「地域に根差したステーション」として「質の担保」を図り、様々な年間活動を行った。地域交流会、周年学習会、チーム活動「呼吸チーム：呼吸リハビリの指導」「褥瘡チーム：毎月の褥瘡カンファや物品管理、ケアの指導」「認知症チーム：ステーション内の勉強会を主催しスタッフのスキルアップに貢献」「エンドオブライフチーム：在宅看取りにおける療養者と家族支援の手引きを作成」　ハートカフェは台風により中止。年間看取り数：6事例であった。管理業務を実施するにあたりリスク管理を重視した。また、2月より新型コロナの影響で利用者様からの訪問キャンセルやステーションからの訪問自粛を行った。結果、訪問件数、利用者数は前年度より低くなっている。月の利用者数９０人前後。延べ訪問件数523～726回/月　平均単価　介護 9,765円　医療　9,901円と全国平均より高い単価を維持できた。ペイラインを下回らないように注意し、特に残業を減らしスタッフの負担軽減、人件費削減が行えた。平成31年度の課題であったライフワークバランスを考えた健全な労働環境の確保については、一定の評価ができる。令和2年度は、引き続き地域に根差したステーションとして運営できるよう常勤看護師の採用・育成とともに、現スタッフの定着、労働意欲が維持できる健全なステーション作りに注力したい。

31年度実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険	介護保険収入	3,525,308	3,414,521	3,303,457	3,519,209	3,403,754	2,688,080
	述べ件数	392	378	370	392	378	344
	平均単価	9,044	9,033	8,928	8,977	9,004	7,814
オプション		20,000	0	0	0	0	0
医療保険	医療保険収入	2,905,440	2,862,970	3,014,310	3,087,120	2,872,350	3,165,813
	述べ件数	302	296	314	334	312	276
	平均単価	9,967	9,985	9,838	9,467	9,585	11,687
オプション	ご利用者負担	104,590	92,660	75,000	75,000	118,220	60,000
事業収入		6,535,338	6,370,151	6,392,767	6,681,329	6,394,324	5,913,893

		10月	11月	12月	１月	2月	3月
介護保険	介護保険収入	2,859,665	2,801,949	2,835,648	2,677,838	2,414,466	2,826,495
	述べ件数	319	312	316	296	267	317
	平均単価	8,964	8,980	8,973	9,046	9,042	8,916
オプション	ご利用者負担	0	0	0	0	0	0
医療保険	医療保険収入	2,563,340	2,650,930	2,698,470	2,821,430	2,327,100	2,409,550
	述べ件数	279	300	295	291	256	254
	平均単価	9,429	9,162	9,452	9,695	9,394	9,902
オプション		67,470	97,920	90,100	60,000	77,980	105,592
事業収入		5,490,475	5,550,799	5,624,218	5,559,268	4,819,546	5,341,637

年間総収入　70,673,745円

職員研修参加状況

月	内部研修名	外部研修名
４月	新規採用職員研修	2019高口光子の看護・介護スキルアップ講座 「プロのターミナルケア」
	ユニットリーダー研修	スライディングシート「スピラドゥ」活用セミナー
		第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
		「ユニットケアという幻想」～介護の中身こそ問われている～
		【希望としての介護セミナー2019】 排泄ケアのいろはを学ぶ
		平成31年度介護予防ケアマネジメント・介護予防支援計画研修
５月	ノーリフト研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	身体拘束廃止研修	2019年度　勉強会・たんぽぽ会　～もっと身近にACP～もしバナゲームを体験しよう～
	リスクマネジメント研修	阿佐ヶ谷センター第2回勉強会　～イタリア発祥！最先端リハビリの考え方～認知神経リハビリテーション～
		認知症ケア困難事例への対応とBPSDが軽減するケアの仕方
		介護施設でのターミナルケアの実際
		訪問看護事業所の集団指導（介護保険）
		認知症初期支店チーム員会議の聴講
		次世代介護機器導入前セミナー
６月	看取り研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	自立支援研修	高齢者急変時の対応と認知症ケア
		身体拘束・虐待を防ぐケア／介護施設での感染症対策
		2019年度埼玉県支部研修会
		高口光子の本気の介護講座「元気の出る介護」
		平成31年度　Ⅰ期ユニットリーダー研修
		第1回　ELNEC-Jコアカリキュラム 「身体的苦情に対するマネジメントやケアにおける文化・倫理的配慮」
		認知症高齢者のケア研修
		次世代介護機器導入前セミナー
		平成31年度　在宅難病患者訪問看護師等養成研修
		どんな環境でも活用できる介護技術研修
		訪問看護におけるリスクマネジメント～利用者とスタッフと事業所を守る～
		北区リハビリネットワーク総会「高次脳機能障害の回復を促すための医療地域連携」
		疼痛アドバンス～オピオイド導入したけど痛いときに考えること～
		令和元年度第1回　北区介護サービス事業者研修会
		2019年度東京都ナースプラザ 「在宅でのターミナルケア」
		北区地域密着型サービス研修会～質の高い介護サービスを目指して～
		「働きやすい職場環境を作ろう」～お互いに言い合える仲間づくりをしよう～
		令和元年度　介護支援専門員研修 「北区としての在宅療養相談窓口の役割について」「退院調整時のポイントについて」
		第13回　重度・重症児（者）の在宅医療訪問診療講習会

7月	感染症予防研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	ユニットリーダー研修	認知症ケア上級コース
		介護事故とリスクマネジメント
		平成31年度　Ⅰ期ユニットリーダー研修
		2019年度　第7・8回東京都認知症介護実践者研修
		北区認知症　初期集中支援研修
		令和元年　認定調査員現任研修（第1回）
		訪問看護新任管理者研修会Ⅱ～経営管理の基本～
		令和元年第1回「精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会」
		「傾き」・「ずり落ち」食事の〝不良姿勢〟に有効なポジショニング
		朝夕調理無人化運営セミナー
		第7回高田馬場医療介護ネットワーク
		次世代介護機器の活用支援事業普及啓発セミナー
		リハスタッフとケアマネの相互理解を深める～アセスメントと目標設定について～
		リフトリーダーフォローアップセミナー「スリングシートのメカニズムと適合方法の実践
		2019年度　日本訪問看護財団研修　「小児訪問看護（医療的ケア児等）の基本と演習」～初心者編～
		令和元年度第1期　自立支援・重度化防止にむけた主任介護支援専門員・保険者研修
		“最後まで口から食べる”食機能をダメにするケア、引き出すアプローチ実技セミナー
8月	口腔・摂食嚥下研修	令和元年度第1期　自立支援・重度化防止にむけた主任介護支援専門員・保険者研修
	褥瘡予防予防研修	アドラー心理学を活用したコーチングとスタッフへの上手なかかわり方
		元気の出る介護　『不適切ケアをなくそう！』
		「生活の場のターミナルケア」～介護施設で死ぬということ～
		第21回　日本褥瘡学会学術集会
		令和元年　東京都訪問看護ステーション協会請求業務研修　「一日でわかる！保険請求業務」
		認知症ケアが上達する薬の知識
		2019年度　第11・12回　東京都認知症介護基礎研修
		令和元年度　入院前から始まる退院支援研修会～医療機関と地域をつなぐ～
		アンガーマネージメント実践トレーニング
		日本認知症ケア学会　地域部会　「パーソン・センタード・ケアとマニチュード」
9月	接遇・苦情対応に関する研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	身体拘束適正化研修	令和元年度第1期　自立支援・重度化防止にむけた主任介護支援専門員・保険者研修
		自立支援の基本は生活づくり　生活づくりのための入浴セミナー
		成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修
		令和元年度　東京都入退院時連携強化研修
		北区社会福祉協議会　福祉施設等苦情対応研修
		令和元年度　介護と医療の連携のための顔の見える連携会議
		第21回　認定訪問療法士研修会
		アクティブ福祉in東京’19

10月	口腔ケア研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
		医療機関相互研修
		令和元年度　北区在宅療養推進会議「地域共生社会実現に向けた国の政策の動向」
		2019年度　在宅難病患者訪問看護師養成研修
		訪問看護キャリアラダー実践編・指導者編
		「快適な口腔で過ごすために」～明日から介助で行う口腔ケア～
		北区ナーシングヘルスケアネット 「人の進化から学ぶ看護」～目からｳﾛｺの看護の実践～
		看取りケアのプロセスと心を癒す 〝声かけ・対話・聴く力〟
		事故・トラブルを想定した同意書・謝罪・記録の方法
		2019年度　第13・14回　東京都認知症介護基礎研修
		外国人介護職員の指導担当者向け研修
		2019年度日本訪問看護財団研修「訪問看護師がおこなう非がんの症状マネジメント」～心不全・脳梗塞・慢性呼吸器疾患等～
		自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修
		第2回　介護＆看護　EXPO
11月	感染症（ノロウイルス）対策研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	認知症ケア研修	成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修
		2019年度第2回　たんぽぽ会主催　ミニシンポジウム&交流会 「患者さんが望む生活を叶えるために」～事例・取り組み報告～
		2019年度日本訪問看護財団研修 「訪問看護師がおこなうリンパマッサージ」～一緒に療養者の苦痛を取り除きませんか～
		第10回　東京都在宅医療推進フォーラム 「ケアの質を考える」
		北区保健所　感染症講演会～冬に流行する感染症～
		第29回　日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 「両技術の進歩と呼吸ケアの新たな展開
		北区訪問看護ステーション連絡協議会　令和元年度　研修会 「訪問看護で必要な難病患者の知識とケア」
		令和元年度　認定調査員現任研修（第2回）
		令和元年度　福祉用具サービス業務従事者講習会 【トランスファーボードとスライデングシート】
		令和元年度　外国人介護従事者受け入れセミナー
		訪問看護ステーション9周年　学習会・懇親会　開催
		令和元年度第2回　北区サービス事業者研修 「介護職員に求められるクレーム予防研修」
		2019年度　第15・16回　東京都認知症介護実践者研修
		令和元年度第3回　北区ケアマネジャーの会定例会 「倫理～なぜケアマネジャーに倫理が求められるのか～」
		第6回　全国大会in埼玉 「これからのヘルスケア部門に求められること」～ヘルスケア（医療・介護）の未来～
		北区リハネット研修会　福祉用具選定を考える～福祉用具の今、症例検討をを通して～
		リハビリテーションケア合同研究大会 「チームで奏でる保険・医療・福祉のハーモニー」
		令和元年度　福祉用具サービス業務従事者講習会 【移乗2　リフト】
		令和元年度　外国人介護従事者指導担当職員向け研修
		2019年度　東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ　①コース
		訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修（経営安定コース）
		第15回重度・重症児（者）の在宅医療訪問診療　講習会

１２月	ユニットリーダー研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	虐待防止研修	自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修
	ノーリフト研修	自立支援の基本は生活づくり～生活づくりのための入浴セミナー～
		2019年度第2期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ⑤コース
		高齢者虐待防止研修～基礎的知識から、事業所における高齢者虐待防止に向けた具体的取組み～
		JiJiBaBa体験セミナー
		「障害児・者の呼吸の見方～深い呼吸を導くために～
		認知症の方への回想法基礎・専門研修
		NPO法人日本健康運動指導士会　2019年度第13回　本部講習会
		高齢者の結核対策～平常時対策と発生時対応～
		2019年度　個別ケアセミナー　24Hシート研修（実践編）
		令和元年度　介護支援専門員研修「在宅における精神疾患の方の暮らしやケアの概要」
		第18回文京区看護職交流会 「生き方・逝き方を考えよう」～人生会議とスピリチュアルケア～
		令和元年度　東京都訪問看護ステーション事業　相互研修交流会
		暮らしの場における看取り支援事業　令和元年度実践編研修
１月	リーダー研修（各階FL対象）	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
	ユニットリーダー研修	介護職場におけるハラスメント対策説明会
		令和元年度　東京都入退院時連携強化研修
		令和元年度　リハビリテーション講演会～小児リハビリテーション～
		区西北部地域リハビリテーション研修 「心疾患を持つ高齢患者の評価とリスク管理」
		小児の在宅リハビリ入門編研修
		令和元年度 「福祉用具サービス業務従事者講習会　第8回」～排泄の仕組みと福祉用具①～
		北区リハネット研修会 「座る支援の大切さ」～シーティングを考える～
		「～3日毎の下剤はもう古い～排便コントロールで褥瘡予防」
		「最新の看取りケア」～その人らしさの支援～
		高口光子流元気が出る介護塾2019　第6回目
２月	救急救命研修	第10期後期松戸摂食嚥下研修会プログラム
		2019年度　保健師・助産師・看護師　実習指導者研修
		令和元年度　施設職員向け福祉用具講習会 「実践型講習会」
		令和元年度　第3期東京都介護支援専門員更新研修
		令和元年度　介護支援専門員研修「事例検討会」
		東京都訪問看護ステーション管理者交流会 「下剤や浣腸だけによる排便ケアを見直そう！排便ケアから生活を見直す視点」
		北区内福祉施設職員合同研修 「怒りのマネジメント研修」
		2019年度　第4回　看取りCAFÉ
		令和元年度第3回　北区サービス事業者研修 「次期介護保険制度改正の方向性とえらばれる事業所づくり」
３月	フォローアップ研修	

実習生受入状況

研　修　名	依　頼　元	人　数	実　　習　　日
介護実習（Ⅲ段階）	日本福祉教育専門学校	1名	H31年8/13～9/17　　(25日間)
介護実習（Ⅲ段階）	日本福祉教育専門学校	1名	R2年2/3～3/9（25日間）
介護実習（Ⅱ段階）	日本福祉教育専門学校	2名	R2年2/3～2/19（12日間）
介護実習（Ⅱ-②段階）	東京福祉保育専門学校	1名	H31年8/5～9/6　　(23日間)
介護実習（Ⅰ段階）	東京福祉保育専門学校	2名	H31年8/5～8/23　　(15日間)
介護実習（Ⅰ段階）	東京福祉保育専門学校	2名	R2年2/10～2/28　　(14日間)
介護実習（１段階）	淑徳大学短期大学部	2名	H31年7/29～8/12　　(12日間)
介護実習（2段階）	淑徳大学短期大学部	1名	R2年1/27～2/17　　(18日間)
介護実習（3段階）	淑徳大学短期大学部	2名	H31年7/29～8/26　　(23日間)
歯科実習（2段階）	東京歯科衛生専門学校	各日12名	H31年11/6．11/13
職場体験	飛鳥中学校	1名	H31年6/25～6/27　　(3日間)
おしごと体験	東京都福祉人材センター	1名	H31年7/24　　(1日間)
老年看護学実習Ⅲ（医務）	東京女子医科大学 看護専門学校	47名	前半　H30年5/7～7/4 後半　H30年8/26～9/26
訪問看護実習（訪問看護）	日本大学医学部	3名	R1年10/18．10/24
訪問看護実習（訪問看護）	帝京高等看護学院	8名	R1年5/7～5/15 R1年6/10～6/19 R1年9/17～9/25 R1年10/21～10/30
訪問看護実習（訪問看護）	東京山手ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ附 属看護専門学校	3名	R1年5/27～6/4 R1年6/18～6/28
訪問看護実習（訪問看護）	首都大学東京	21名	R1年11/18～12/31 R2年1/6～1/31

実習生受入状況（地域包括）

研　修　名	依　頼　元	人　数	実　　習　　日
在宅看護論臨地実習	帝京高等看護学院	4名	H31年4/9～10、23～24
		2名	R元年5/28～29
		2名	R元年6/25～26
		2名	R元年9/24～25
		2名	R元年10/15～16
		2名	R2年2/18～19
		2名	R2年3/3～4

行事・会議・委員会実施状況

	行　　事	会　　議	委　員　会
4月	新規職員入職式 音楽クラブ バンド演奏会 音楽療法 西ヶ原南保育園交流会 お花見（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
5月	菖蒲湯 音楽クラブ 音楽療法 西ヶ原南保育園交流会 樫の木幼稚園交流会	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
6月	音楽クラブ 音楽療法 西ヶ原南保育園交流会 西ヶ原東保育園交流会 滝野川消防少年団慰問	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 褥瘡対策委員会 事故防止対策委員会
7月	音楽クラブ 音楽療法 樫の木幼稚園交流会 家族会 防災訓練 納涼祭（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
8月	音楽クラブ 音楽療法 納涼祭	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
9月	敬老会 彼岸供養会 音楽クラブ 音楽療法 西ヶ原南保育園交流会 樫の木幼稚園交流会 敬老会（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 褥瘡対策委員会

	行　　事	会　　議	委　員　会
１０月	音楽クラブ 音楽療法 西ヶ原南保育園交流会 運動会（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
１１月	音楽クラブ 音楽療法 西ヶ原南保育園交流会 西ヶ原東保育園交流会 樫の木幼稚園交流会	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
１２月	音楽クラブ 音楽療法 クリスマス会 バイオリンコンサート 忘年会（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 褥瘡対策委員会 事故防止対策委員会
１月	音楽クラブ 音楽療法 新年会（特養） 初詣（デイサービス） 新年会（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会
２月	音楽クラブ 音楽療法 節分（デイサービス）	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 事故防止対策委員会
３月	新型コロナウイルス感染防止対策中の為中止	施設運営会議　フロアリーダー会議 フロア会議　ユニット会議 サービス担当者会議　医務室会議 入所検討会議　在宅サービス担当者会議 デイサービス会議 居宅ケース会議　包括内会議 包括部門会議包括事例検討会 訪問看護ステーション運営会議 訪問看護勉強会　訪問看護事例検討会	医療的ケア安全委員会 身体拘束廃止委員会 感染対策委員会 防火管理委員会 衛生委員会 介護力向上委員会 生活行事実行委員会 広報委員会 褥瘡対策委員会